



保護者アンケートによる「学校評価」について(2)

学校長 小木曾敏樹

0 全体として

- 全体として「A」が減少、「B」が増加、「A・B」の肯定的な評価はほぼ変化なしという傾向です。
- 「C」、「D」という否定的評価については、多くは特定の方による評価でした。
- 記述がない項目が多いため、具体的な回答ができないことをご理解ください。
- 回答数が少ないため、お一人の評価が、「0.6%」となります。

評価について

A 大変よかった B よかった C あまりよくなかった D よくなかった

昨年度評価との比較



向上



やや向上



ほぼ同じ



やや低下




低下

7 学校は、学級や学年、児童会や委員会、クラブや異学年グループなど、集団活動を通して適切な人間関係能力の育成を図っている。 A 42.0 B 57.3 C 0.6 D 0.0


- 記述なし

◎肯定的評価が、99.3%ということで、学校の努力や創造を評価していただけたと感うれしく思います。

8 学校は、児童のよさや頑張りを適切に評価し、児童の自己肯定感を高めるよう、適切に指導している。 A 35.7 B 58.6 C 5.1 D 0.6

- 記述なし

◎自己肯定感、自己有用感を高めることは、健全な成長、学習や活動への意欲につながる大切なものと考え、結果だけでなく努力の過程も含め適切に評価するよう努めています。

9 学校は、学校施設・設備の充実や保守を行い、児童にとって適切な教育環境を整え、管理している。 A 31.8 B 65.6 C 5.1 D 0.6

- 夏の間グラウンドの雑草がかなり生えていたので少し何か対策が必要なのかなあと感じました。

◎新しいとはいえ、校舎は築18年になります。いろんなところに修繕が必要で、順次修繕をしているところです。夏の草については、除草剤は使用できませんので、人力に頼るしかありません。運動会前に全校で草抜きをしましたが、それ以外には対応策はないと思っています。

10 学校は、早寝・早起き・朝ご飯といった、基本的な生活習慣の育成について指導し、児童に定着させている。



A 24.2 B 72.6 C 5.1 D 0.6

- 今年の運動会は平日の午前中で給食を食べて午後授業をしての帰宅でしたが、中学生なら体力もあり大丈夫だと思いますが1年、2年の子どもたちは可哀想だと思いました。

- ◎基本的な生活習慣については、折に触れ指導はしていますが、ご家庭でのことなので見届けること、指導に生かすことができません。今後も繰り返し指導を行っていきます。
- ◎運動会の午後は、運動会の感想の交流など振り返りをしています。コロナ禍以前は9月の暑さの中で午後も競技を行っていて、現在より種目がもう1つ多かったはずで、低学年でも可能と考えます。

11 学校は、命を守る訓練や登下校指導など、児童の命の安全を守るための努力をしている。



A 49.7 B 49.0 C 1.3 D 0.0

- 登校班が高学年が1人でとても負担になっているように感じた。距離もあるため心配だった。
- 晴れた日の6時間目が終わってからの下校時間頃（16時10分頃）に花戸町方面から昭和町に向かって車で走っていると、丁度逆光になっていて前がほとんど見えないことがあります。子供たちの通学路であることが分かっているので細心の注意を払ってはおりますが、そうではない車もいて、、歩道に縁石もないため事故が起こらないかととても怖いです。子供たちへの下校の指導だけでは防ぎきれないこともあると思いますので通学路のハード面の改善もしていただけるとありがたいです。

- ◎安全な集団登校ができるよう、他校よりも多くの練習を行い、「全校地域」という時間を定期的に設けて担当職員が指導に当たっています。問題があった場合などはその地域を集めて聞き取りを行い指導をしています。保護者の皆様にもご協力いただき、指導に当たっていただくと助かります。
- ◎昭和町通りはスクールゾーンに指定されており30キロ制限です。しかし、多くの車がそれ以上のスピードで走っており、30キロで走る私は後ろからあおられることもありました。30キロ制限の表示を多く設置してもらえよう要望しています。それ以外の対応は難しいかと考えます。

12 学校は、心の健康調査やいじめアンケートなどを行い、教育相談を適切に行い、児童の実態把握とケアに努めている。



A 33.1 B 62.4 C 3.8 D 0.6

- 心の健康調査、いじめアンケート結果を公表できる範囲で伝えていただきたい。
- いじめアンケートの結果と生徒が教室で見かける実際は違うそうです。

- ◎アンケート結果の公表は難しいと考えますが、当該児童の保護者の方には連絡をしています。
- ◎心と体の健康調査についても、すぐに聞き取り面談を実施し、問題があった場合は保護者の方に連絡をして対応しています。毎月、時間と労力をかけ行っており、成果は大きいと考えています。
- ◎いじめ発見の多くは、教師の発見、教師への訴えです。アンケート調査から発見されることは少なく、保護者の方からの相談で事実が分かったケースは数件でした。アンケート調査は発見のためだけでなく、いじめ防止の啓発という効果が期待できると考えています。

13 学校は、児童の問題行動やトラブルに対して迅速に対応し、解決を図っている。

- 記述なし



A 29.5 B 63.5 C 5.8 D 1.3

- ◎学校職員も同じ調査を行っています。保護者評価と職員の自己評価で、最も評価が食い違っている項目で、職員は約70%が「A」と自己評価しています。「即時即対応」を原則にして、「即・事実確認、保護者連絡」はできていると考えています。迅速な対応を行っていると感じています。ただし、解決は急ぎません。反省のない謝罪で形だけの解決を図ることは、同じ間違いを繰り返すことにつながります。謝罪等の解決までに時間がかかってしまったケースが実際にありましたが、このような理由からです。粘り強く、慎重に、個々の成長を図っているとご理解ください。